

2014年度 町田市市政モニター 第3回アンケート
「新公会計制度について」結果（速報）

実施期間 2014年12月19日（金）～2015年1月15日（木）
※期限過ぎに提出されたものも集計しています。

テーマ 1.路上喫煙やごみのポイ捨ての防止について
2.イベントや講座・講演会等の情報について
3.新公会計制度について
4.市政モニター事業について

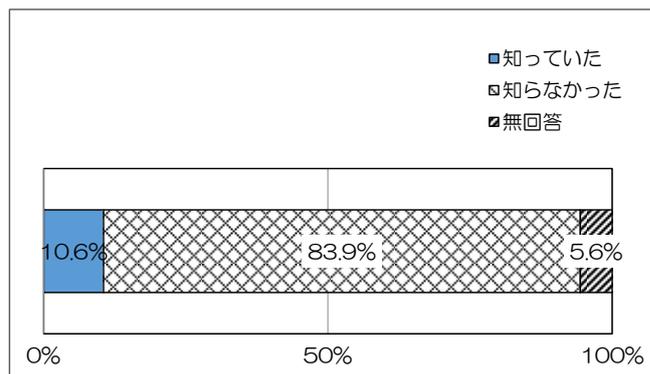
対象者 196人
回答者 161人（男性80人、女性81人）

年代	人数	割合
20歳代	13	8.1%
30歳代	30	18.6%
40歳代	32	19.9%
50歳代	23	14.3%
60歳代	29	18.0%
70歳代	27	16.8%
80歳代以上	7	4.3%
合計	161	

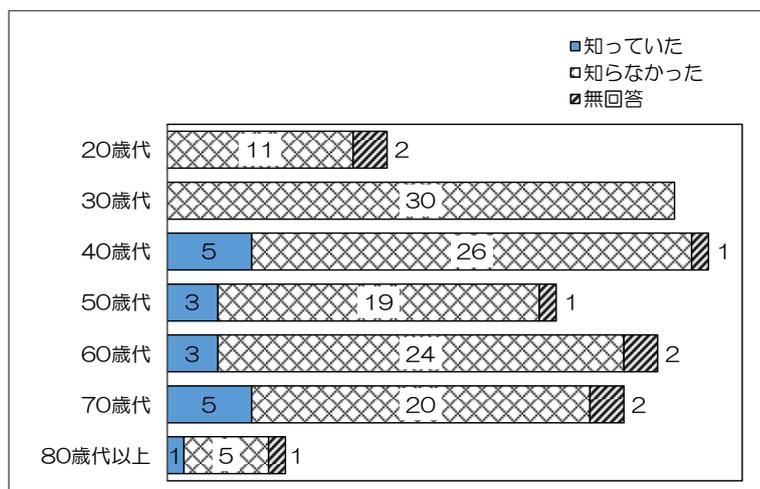
※以下、アンケート結果は速報値です。正式報告においては、数値・内容の一部が変更される可能性があります。

Q36 町田市が「新公会計制度」を導入していることをご存知でしたか。

回答	人数	構成比
知っていた	17	10.6%
知らなかった	135	83.9%
無回答	9	5.6%



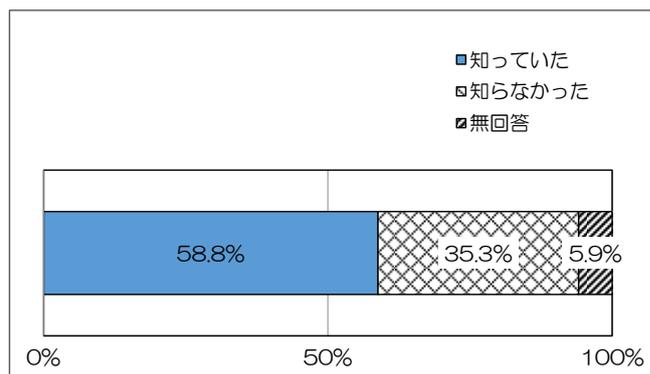
年代別の回答



Q37 Q36で「知っていた」と答えた方にお聞きします。

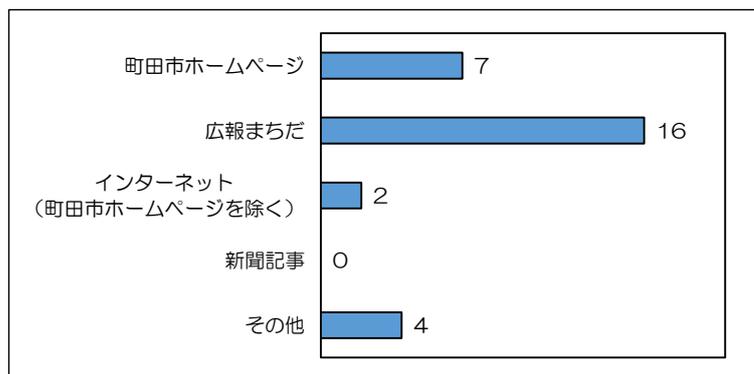
町田市が、課別や事業別の財務諸表も作っていることをご存知でしたか。

回答	人数	構成比
知っていた	10	58.8%
知らなかった	6	35.3%
無回答	1	5.9%



Q38 Q36で「知っていた」と答えた方にお聞きします。

町田市が新公会計制度を導入していることについて、何で知りましたか。（複数回答可）



Q39 全ての方にお聞きします。「町田市の財務諸表 ～概要と解説～」をご覧の上、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※「わかりやすかったところ」「わかりづらかったところ」「他にもっと知りたいところ」の3つに分けてご意見をうかがいました。

※回答内容を抜粋しています。また、明らかな誤字等は修正しています。

○わかりやすかったところ

<民間企業の会計との親和性（及び相違点）について>

- 基本的に民間の会計ルールに準じているので理解しやすい。
- 全部分る。理由は、世の中の標準表示に従っているから。
- 財務4表に分けて説明している
- 会社会計にB/S,P/Lに準じた会計科目を使い、財政規模（ストックとフロー）が判りやすい（特に注目したのは人件費）
- 市（県、国も同じかもしれませんが）の財務諸表に表記される文言の意味が民間会社の財務に関する表記と考え方も意味も違う事

<項目の説明や用語解説がある>

- 難しいことばが少ない。単語の説明書きがあるところ。
- 難しい言葉を説明してあって分かりやすかった
- 難しい言葉もわかりやすく解説されており、読みやすい。市民1人あたりで見ると・・・など、例も良い。
- 表や説明が多いこと。
- 財務諸表の見方の説明があるところ。
- 項目により、詳しく説明書きがあるところ
- 項目ごとに細かい説明でわかりやすかった。

- 各項目についての解説がわかりやすい点
- 各項目ごとに解説があるところ。
- 各表の言葉に対する説明がある
- 項目に説明をつけているところ。
- それぞれの項目に解説が付いており、分かりやすかった。
- 細かく用語を説明されていること
- 詳しく分かりやすい解説があるので
- それぞれの科目の説明。
- 科目について説明してくれたこと。
- 貸借対照表・行政コスト計算書・キャッシュフロー計算書の項目別に記載されている説明がわかりやすかった。
- 表の外側に矢印で「未収入金とは？」と詳細がそれぞれ記入してあり、とてもわかりやすく理解ができた。
- 吹き出しでの用語説明がはいっていること
- 重要点などが吹き出しとなっているところ。
- 実際の会計表と思われるものに対し補足書きをしているため、実態を理解しやすい
- わかりにくい「科目」について、両端（表外）にそれぞれ説明が細かくかかれていて理解しやすい。P14、15には用語解説があり、納得できる。
- 細かい説明がわかりやすい図を多く取り入れ、わかりづらい言葉の説明や財務諸表を見るとこんなことがわかるとそのものの意味がわかりやすく書いてあった。
- P2・3 貸借対照表やP6・7の表横の囲みの解説やP5、P11～11の解説が、日ごろ市の財政に興味を持たなかったものにとってはわかりやすいです。あと、用語解説も役にたちました。ともかく解説が丁寧に入っていていいですね。
- 解説部分
- 用語解説（2件）
- 用語解説が載っているのも良いと思います。
- 科目の用語解説はわかりやすかった。
- 用語解説もわかりやすかった。全体的にわかりやすい文章でよかった。
- 用語解説を付けてあり、読み進める上で理解できた。P11の表を見ると、一目でわかりやすい。
- 難しい言葉も、最終ページの用語解説で詳しく理解することができ、わかりやすかった。色づかいや絵の挿入もあり、とても見やすかった。
- 資産、貯金、税金の収入の用語解説が末尾に記載があり良かった。
- 財務会計の経験者以外は見慣れない表なので、用語解説は必要でした。もう一步、「例えば～です」があるとより理解し易いと思います。

<図表やイラストによる説明>

- グラフ
- 表やグラフになっているところ。
- 表になっている所

- 適切な図表と解説により、よく理解できました。
- 表や図があってわかりやすかった。(色がついているのもよかった)
- 図や表がきれいでとてもわかりやすい。説明もていねいになされているためわかりやすい。
- 円グラフ、棒グラフになっているものは、わかりやすかった。
- キャッシュフロー計算書。円グラフやイラストで説明しているところは、見やすく分かりやすく関心も向く。
- 注釈や円グラフがあってわかりやすかった。カラー印刷もわかりやすい。
- 絵を入れている所。

<色分け、体裁関連>

- カラーで見やすい
- 色づかいとか、人物を使用しているところ
- 色別に変えているところ。
- 要点を色分けしてある所
- きれいに色分けされていて、読みやすかった
- 色分けされて解説されている
- 色を変えて注釈していてとても分かりやすいと思います。経年比較しているのが分かりやすい。変動要素と理由が書かれてるのが良い。
- 色をかえている(ビジュアル)。実際の表を使い矢印でポップアウトし説明しているところ。
- 必要な部分が色別されていて、難しい用語も解説があったのでとてもわかりやすかった。
- 「見方」の資料があってわかりやすいし、興味をもった。2色なのも良い。
- 色でみやすく 字の大きさも良
- 字が大きめでカラフルでわかりやすかった。
- ポイントが太字等で表示されているところ。
- 色わけや解説があるのが良い。
- カラーの資料で絵が配置してあり、読む気になる。グラフでの解説はわかりやすい。
- カラーやイラストで読んでみようという気になり、聞き慣れない言葉も解説があるのでわかりやすいです。

<貸借対照表関連>

- 貸借対照表
- 貸借対照表等について、主な変動要素と理由が記載されていること。
- 貸借対照表、わかりやすい。
- 貸借対照表が解説付きで明示されていたところ。
- 貸借対照表の構造を表記しているところ。キャッシュ・フロー計算書の説明。用語解説
- 資産・貯金がいくらあるのかがわかった。
- 資産・貯金・税収がわかった。用語解説でわかりやすかった。

- 貸借対照表で市民一人あたりで見た図
- 市民一人当たりの資産と負債。町田市の貯金について。
- 入出残が少しわかった。負債65万
- 「資産が1万円増えて、負債は23円へりました」との図がわかりやすい。
- 市民一人あたりの資産が増えて負債が減っている箇所。資産、貯金、収入の内訳等が表によってとても分かり易い。
- 市民1人あたりで見ると・・・等 説明がしてある所 町田市の貯金ってどれくらい？
- 資産の総額は、1兆6,224億円と説明を加えているのは分かりやすい。
- 町田市の財務状況の全体を貸借対照表を導入することにより、時間要素（純資・負債・資産）も含め明らかにしている努力は理解。しかし、下記に述べた病院その他特会との関係は不明。
- P2・3の貸借対照表とは？P11財務諸表、こんなことがわかります。P14・15用語解説
- P.2.3.4.11

<行政コスト計算書関連>

- 行政コスト計算書（2件）
- 行政コスト計算書とは？経年比較
- 収支の概算は理解できた。
- 収支の説明や細かくいろいろと解説してくれている所。
- 一年間の市民の負担と（市役所が提供したサービス）関係を表した場所です

<キャッシュ・フロー計算書関連>

- 行政サービス活動。
- キャッシュフロー計算書とは？財務諸表を見ると、こんなことがわかります。

<経年比較>

- 表や計算書など＋△で書かれ、その横に理由が書いてあるところ。
- 財務諸表の経年比較、貸借対照表

<11ページ「財務諸表を見ると、こんなことがわかります」について>

- P11
- P11のように表してもらったところ。
- P11 グラフや分かりやすい言葉が使われているところ
- P11等グラフ化されているところ
- P11のこんなことがわかりますのページ
- P11「財務諸表を見ると、こんなことがわかります。」というページ
- こんなことがわかりますの表

- 財務諸表を見ると、こんなことがわかります。
- 財務諸表を見ると、こんなことがわかります。の部分
- 財務諸表を見るとこんなことがわかります、のまとめてある頁。用語解説がされている点。
- P11 のお陰で少し理解できました。
- P11 の例え話はわかりやすい。用語解説も良かった

<全般的事項>

- 財務4表についての説明。
- 全体的にわかりやすかった。
- 全般的にわかりやすい。
- 全般的にバランスの良いよく整理された内容と感じた。
- 今まで目にすることがなかったが総括がされており、多少は理解できたと思います。
- 大きなお金が動いていること。

○わかりづらかったところ

<新公会計制度導入の意義>

- そもそもなぜ町田市が新公会計制度を導入したかわからなかった
- 新しい会計制度にした意味がよくわからなかった。

<字の大きさ、体裁>

- 文字が小さい。
- 年寄りにはかなり見づらいと思う。字が小さい。
- 全体的に字が小さい。
- 少し、字が細かい
- 所々の字がこまかく見づらい感じがした
- 小さい文字は、フォントを変更するなど、見易くする工夫があると良いです。
- 全体的に見ずらいです、説明文を見ると線が邪魔しています。
- 説明に使用される数値が、実際のものなのかサンプルの数字なのかわかりにくい点
- アンケートの冊子と同じ紙を使っていた事と「財務諸表の見方」という冊子と題名が似ていたところ

<難しい、会計の知識や経験がない>

- 全体に・・・？
- 全体的にわかりにくいです。
- 難しくてよくわかりません。

- 表になっていてわかりやすかったが理解するのは難しかった
- 内容はすべて理解できませんでした。
- 内容が難しかったです。
- 分かる人には分かると思うが難しいいまわしで理解できない。
- 説明のない所など判らない人が多いのではないのでしょうか。
- 知識不足の為なかなか理解ができなかったが これからも何回か読み理解するようにする。
- 初めて聞く単語ばかりで、頭に入ってこなかった。
- 専門用語。
- 用語の具体的内容がわからなかった。
- 用語について（専門的だった）用語集の様なものがあれば
- 専門用語です。最後の用語解説のページはありますが、例えば、「複式簿記の手法」とはそもそも何？基本的な用語なのかもしれませんが、私には馴染みのない事柄で、わかりません。
- 専門用語がやはりむずかしいです。ただ、それぞれ解説が丁寧に入っているので、時間はかかりましたが、大まかながらつかめました。
- 市の財政のことは、大切なこととは思いますが、殆ど理解できない。
- 興味をもてないとよむのが面倒である。
- 表自体を普段から慣れ親しんでいないので、見つらかった。
- 財務諸表という事に対して、知識がすくない為、理解が難しいです
- 貸借対照表等、日項目にする機会のない者にとっては、用語解説があってもわかりづらく思えました。
- 上記のようにわかりやすく書いてあるのですが、自分にとって馴染みのない事柄であるためか全体的にわかりづらかった。
- 個人的なことなのですが、事務系の仕事をした事がなく見慣れない単語だらけで、解説を読みながらの解読で少々面倒である（すいません）
- 『経理』は全般的に解りません。
- 簿記・会計の知識が不足しているためか、本質的な理解ができなかった気がする。そのため、「町田市の財務諸表～概要と解説～」がわかりにくかったわけではないです。
- 私は理系人間のためか、会計に関する知識が少なく、これまで興味がなかったことも重なって、この諸表を完全に理解することは大変難しいと感じました。諸表の説明は適切であり、分かりやすいように努力している事は分かりますが、会計制度（会計学の基礎知識）を本来的に持っていないものには、とっつき難い分野だと感じました。

<金額が生活感覚と乖離している、表示単位に工夫を>

- 金額が大きすぎて現実味がない
- 家計との数字がかけ離れていて、数字に関しての現実味がない。
- 数字について、普段の生活で使っている金額との差がはげしく、いまいちピンとこない部分があった。
- 円単位では読みづらい、百万単位ではレベルでよい。
- 単位が1円単位と千円単位とあったので、統一したほうが良いと思う。

- P10の表「各活動区分別収支差額の推移」の数値が億円なのだが、上記の計算書には細かく記載されているので一瞬、同一のものと受け止めにくい

<図表の使い方を要改善>

- 数字の羅列のみ終始している所。
- 現行で十分ですが、もっと簡単に分かる表グラフがあると良い
- 私は不得意な分野なので、数字よりグラフ等を多用してほしい
- 文字と数字が多いので見づらい。もう少しグラフとかを活用した方が見やすいと思う。全体のうちの何がどれくらい、何%といった形で。
- 内容が細かすぎるせいか、何をどう見ればいいのかわからない。表だけなのでグラフが欲しいと思いました。

<内容が細かすぎる、項目が多すぎる>

- そもそも細かく分類されていてよく分からない
- 主に表を載せて説明していますが、正直細かすぎてわかりにくいです。
- 項目が多くて、分かりづらい。
- 項目が多すぎてみるのが大変
- 全部読む気力があるかどうかは別として、とくにない。
- 科目の内容が理解出来ていないので全体を理解するのはむずかしい。あまりに細かすぎるのでは

<数値の適正性を判断できない>

- 適正な数字かどうかかわからないこと。
- 金額については、収支差額は理解できるが、個々の金額や収支差額が適切なのかよくわからない。
- 町田市の財務状況は数字として分かったが、健全なかが分からない。他の市等との比較した資料が欲しい。
- 国の財政問題は大きな課題であるが、町田市の財政はどう考えればよいのか。
- 病院事業会計の透明性が全く不明の他、各特別会計の採算性等が不明。経年●変化●評価しているところもあるが、健全性や問題点が不明。

<民間企業の会計基準、財務諸表との相違点>

- 会計年度（支出と税収入などの関係）の考え方がわからない。
- 基礎としている会計表が、万人向けに作られたものではないため読み取りづらい
- 貸借対照表の形に一般的ではない。

<各財務諸表について>

- 貸借対照表
- P3（貸借対照表）

- 会計等の知識がないので P2,3,4 は具体的に見ても良く理解できない。(P5~の読み進めて少しずつわかってきました。)
- 貸借対照表・行政コスト計算書
- 行政コスト計算書
- 頭が悪いので、P6~P7 のキャッシュフロー計算書で説明されてものみこめないです。でも、大部分の人はわかると思います。
- キャッシュフロー計算書 (3 件)
- P6 キャッシュフロー計算書とは？
- キャッシュフロー計算書のページ。
- キャッシュ・フロー計算書の見方
- キャッシュ、フロー計算書の区分です
- 純資産変動計算書。
- 財務諸表の経年比較。キャッシュ・フロー計算書。

<勘定科目の意味や考え方について>

- 引当金、未収金
- 不納欠損引当金と未収金との関係 (何が回収出来ないのか？回収しようとしていないのか？)
- インフラ資産 (換金不能?)、不納欠損引当金の意味
- 資産計算などで、市民一人当たりの表示が何を示しているのかわかりづらい。市が解散したときに市民ひとりずつに支給される金額を示しているのだろうか。一人当たりの資産が増えて負債が減ったのなら、その分の市民への支給がないのはなぜなのか、と思われる。
- 収支差額マイナス=赤字

<各勘定の具体的な内容について>

- 行政コスト計算書の内訳で、特別費用の多いところ。
- 会計科目が何を意味するのか—我々の生活のどこの所に該当するのかが分りづらかったです。
- 明細がおおざっぱで良くわからない
- 各項目の詳細内容が不明である。
- 各コストの内容
- 市民が項目と金額を見たところで、何に使っているか、さっぱりわからない。

<財務諸表どうしの関連等について>

- 貸借対照表とキャッシュフロー計算書及び行政コストの対比と項目の見方及び考え方
- キャッシュフロー計算書と貸借対照表・行政コスト計算書のつながりで、金額が微妙に違う部分があり、よく分からないところがある。
- P12~P13 一般にはわかりにくい。
- P12.13

- 諸表全般。それらが何を示すのか一般人にはわかりません。「キャッシュフロー計算書の3つの区分と貸借対照表・行政コスト計算書とのつながり」で系図が載っていますが、これだけでは「それで？」という感じです。

○他にもっと知りたいところ

<他団体比較の必要性>

- 他の市と比べて、どうなのかということを知りたい。
- 近隣市町村との比較。
- 町田市の財務状況は理解しましたが、他の市町村と比較したらどうなのか？という話を知りたいと感じた。
- 他の市町村との比較や、そこから得られる町田市の財政の課題、理想値（目標）とのかけ離れ度合いなど。
- 財政状況が他の市に比べて、どのような点で優れているのか等、町田市の財政の優れているところを具体的に書いてほしい。
- 数字は比較の対象がないとよくわからない。他の市町村と比べてというか、平均的な市町村と比べてどうかを知りたい。町田市の財政の特徴もわかると思う。
- 財務が健全かどうか、これだけでは判断できないため、他の自治体か全国平均との比較か、目的数値などの併記があると良いと思います。

<課題認識と解決策>

- 市長がどのような町づくりを目指しているのか、その為の予算をどの様に配分するのかなどが知りたい。
- その年度の予算案も財務諸表と一緒に見たいと思いました。収支差額について（p.5）記述がありましたが、説明だけでなく、町田市の場合の分析も載せて欲しいです。
- 財務をよくする為に何をやっているのか？
- この結果により町田市はどうするべきなのか？
- 町田市全体の財務上の課題
- 課題と注目点を赤ラインか赤星マークにして頂くと更によいと思う。同程度の市との比較で、今の課題・優れているところ。
- 町田市の状況が負債があるのか、健全なのか、概要説明が欠落していると思います。これでは報告義務を果たしても、ほとんどの市民に理解されない資料になっていると思います。
- 平成 25 年度の財務諸表の各々のどこに課題があるのか、それをどう解決し、改善しようとしているのかを知りたい。

<税金の使い道>

- お金の使い方と出所です。税金の使い方をを知りたいです。
- 住民税などが、何に使われているのか、毎年全体でいくら徴収して、いくら支出があるのか、もっと大まかな説明が良いのでは。市役所を建てるために、いくらかかったかなど知りたい。

<市債について>

- 借金がどれくらいあるか？
- 地方債の元金の返済がおこなわれているが、今後も順調に減らしていけるのか。
- 実際に借金（地方債？）はどの様に返済され、新規事業に対してどの様に融資を受け又返済計画はどの様に立てられているのかと言う事

<財務諸表や勘定科目の具体的な内容や、市の取り組みについて>

- 一つ一つの項目と数字は出ていてわかりやすいが、それが何なのか・・・ということ・・・
- 明細内訳
- 税金などの収入に対して、市民に対しての事業内容支出の内訳
- 1. 税滞納者に対する対策。2. 収入と地方債残高の関係で安全といわれる考え方、指標は何か
- 新しくなった部分と古くからやっている部分がどの部分か知りたい。
- 「おうえんマン」「ハスのん」「消えないまちだ君」は見たことがなかったです。停電時に消えない街灯がどこにあるのが知りたいです。
- キャッシュ・フロー計算書
- キャッシュ・フロー計算書、特に物件費の具体的な内訳（中身）
- 事故や病院について
- 市民病院の収支状況（広報では多額の赤字で一般会計より補填されているように理解しましたが）。

<図表での説明を>

- もっと文章より図で分かる物が欲しい（マンガ調などにして）
- 他にということではありませんが・・・財務に知識のない市民の一人としては、貸借対照表の前にも、P11のように、町田市の歳入と歳出の円グラフがバーンとあると、とっつきやすいかなと思いました。
- 市民の中の一部の方（会計等の専門の方、又はより詳しく知りたい方）にはここまで数字的に細かく詳しい表が必要なのでしょうが・・・一般的な方は、収支のしっかりした考えが読める図・表をもっと公に知りたいと思います。良く耳にする私たちのまわりの声は、子ども達のためや、道路整備等の予算が見えてこない。目に見えている所に使われているのがわからないということです。
- 『各会計合算キャッシュ・フロー計算書』はとても見やすいと思うが、金額が大きすぎて、イマイチわかりづらいので、円グラフなどを用い、収支のバランスを見たい。

<会計処理やその考え方について>

- 引当金の計算方法
- 貸借対照表の資産の部の貸倒引当金がマイナスだけど、どうしたらマイナスにこの勘定科目ができるの？
- インフラ資産とは何を基準にしているのか？値段に置き換えが出来るものなのか。又、その価値は正しいのか？基金積立金とは何なのか？
- 還付未済金が発生してしまった理由。財産収入の中の市有地の貸付収入とはどういった

土地が貸して頂けるのですか？

- 部別・課別・事業別の財務諸表が作成されているようであるが、「一般財源充当調整」という手法はテクニカルであり、例えば支出（コスト）削減等の状況を如何に絡み取り得るかはよくわからない。一般財源充当調整額ないしはその比率が低下すればよいと考えるのか。或いは課別・事業別の行政コスト計算書があるのか。（あるとすれば、これをどう評価するかがポイントでないか）

<用語の意味、基本的知識>

- 用語解説、分からない単語が多いので。
- 用語説明
- 自分自身がもっと勉強をしてからでないと回答出来かねます。
- モニターとして、回答するにあたって誰かに財務諸表のことをわかりやすく教えて欲しいです。

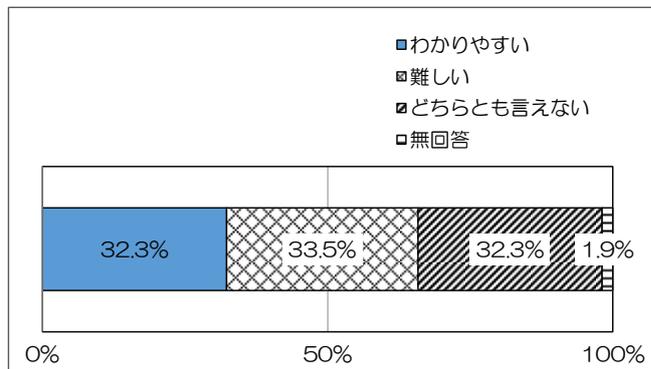
<その他>

- 公にしている所は良いと思います。
- 毎年この冊子の様にわかり易いものがあると良い。

Q40 「町田市事業別財務諸表の見方」をご覧の上、以下の項目について教えてください。

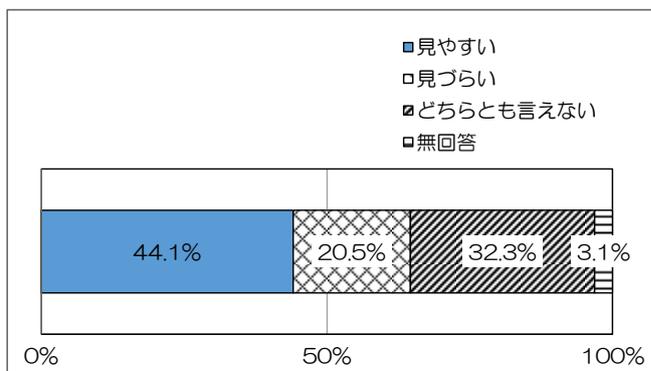
○内容について

回答	人数	構成比
わかりやすい	52	32.3%
難しい	54	33.5%
どちらとも言えない	52	32.3%
無回答	3	1.9%



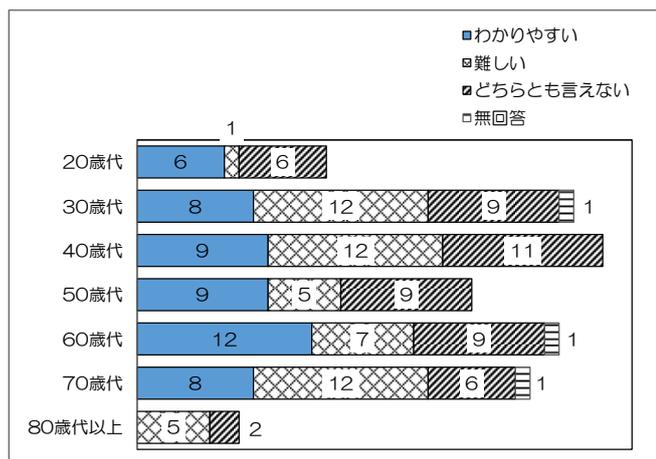
○資料の形態（大きさ、開き方、色、デザイン等）について

回答	人数	構成比
見やすい	71	44.1%
見づらい	33	20.5%
どちらとも言えない	52	32.3%
無回答	5	3.1%

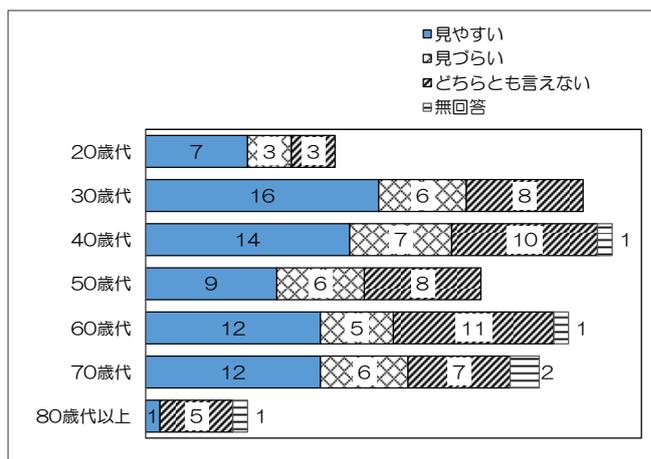


年代別の回答

(内容について)



(資料の形態について)



○「町田市事業別財務諸表の見方」について、自由にご記載ください。
※回答内容を抜粋しています。また、明らかな誤字等は修正しています。

<わかりやすい、関心が持てた>

- 素人の私でも関心を持ってました。
- 一般の市民にもわかりやすく解説されていると思う
- 財務諸表を見たことがない方にもわかりやすくできていると思います。親切的な印象を受けました。
- 内容は難しいのですが、表の見方は大変丁寧に説明されていて、素人の私でも興味が持てました。
- とてもわかりやすかった。これを見て国際版画美術館だけでなく、他の事業所の財務諸表も見て、知りたいと思った。中開きの“このパンフレットは～77円です（職員人件費を含みます）”の一文がコスト意識がとても高いと感じ、好感がもてました。
- とても良い資料だと思うので、広く配布されたら良いと思う。コストがかかるのであれば、広告を入れても良いのでは。
- 一つの施設を例に挙げて説明をしているところがわかりやすいと思います。
- 具体的な題材を取り上げ、解説してあるので、とても理解しやすいと思います。
- 「事業別財務諸表」により、今まで見過ごされていた事業の成果や税金の効率的運用に関して、検証ができることは大きな進歩だと思う。
- このままでよい
- 一般の主婦ですが、細かく仕分けられていてわかりやすい。
- 細かく分散させているのでビックリです。感心しました。
- これからの課題など、はっきりしていて良かった。
- 事業の課題や増減の理由などが書かれていて、成果や今後の課題などの分析がされているのがとても分かりやすくて良い。
- だから、どう判断するのかの参考が、引出しコメント式でわかりやすく、興味もてた。
- 事業別財務諸表の存在を初めて知り、勉強になりました。表自体の文字はもう少し大きくてもよいかと思いましたが、見開きでいい感じのレイアウトになっていると思います。各キャラの吹きだしコメントが効果的です。問題意識を解決して行く流れも共感できます。単価が表記されていることもなるほど・・・でした。

<難しい、知識が必要>

- 内容を理解するのは難しい
- 子どもでも分るくらいにしてもよい。
- 市民レベルでは難しい。
- 主婦がみてわかる様な表現して下さい。財務諸表は立派に出来ていると思います。今より少し勉強いたします。
- 科目の意味がわからないものがある。
- 良くわかりません
- 数字のられつはよく解らない。青色申告程度が限度。
- 金額が大きすぎて読めないです。数字の羅列みたいな感覚です。

- 見方はわかりやすかったですが、内容が難しかったです。
- ほとんどの人が理解できないと思います。
- 私の場合、基礎知識の学習からはじめる必要があると痛感いたしました。
- 読もうと思う人にとっては、読みやすいと思う。
- 財務諸表自体の見方がわからないと読み込むのは難しいと感じた
- 財務関係については、ある程度知識がないと無理ではないでしょうか。
- そもそも内容が難しいので、工夫されて記述されているように感じるが簡単には理解できない。
- 一般の方が普段あまり見なれない物ということもあり、説明に苦慮されている点は理解できます。
- 科目と用語解説を照らし合わせてみる。
- 経理の知識がある人はわかると思うが、普通の会社員でも、他の職種の人にはめんどろなことも含めわかりづらいと思う。一般的な記載よりはグラフ、一人当たりいくら支出とか、生活に近いところで表現した方がよい。
- 当然市民として理解しなくてはならないと思いますが、これを理解するのは大変な知識が必要です。おそらく専門的知識のある方は興味をもって見られましょうが、小生は申し訳ないですが とおりいっぺんな見方でした。申し訳ございません
- ポイントが吹出しになっていてイラストもありとてもわかりやすい一面もあったが、財務諸表という馴染みのない言葉、内容に対しての分かりづらさや、諸表の字（吹き出しの字ではなく）が細かく、字ばかりで気持ち大きめの字でできることなら文章の簡略化が図れるとよりいいのかなと思いました。

<字の大きさ、配色、レイアウト等に関するコメント（良い評価）>

- よくできていると思います。色の数も丁度良いと思います。
- ふき出しが、さし絵等、大切な POINT が注目し易くなっていて良い。

<字の大きさ、配色、レイアウト等に関する改善提案>

- 字が小さいので見づらい
- 文字が小さくて読みづらい。
- 字が小さくて読む気力が失われました・・・。
- こまかすぎて、字が小さすぎてみづらい。
- サイズは大きめで文字も数字も大きめのほうが見やすい。
- 細かすぎてわかりにくい。
- わかりやすく作成されていると思いますが、中高年には字が小さすぎて読むのに疲れます。
- 悩ましい質問です。限られたスペースで必要な情報を盛り込むと、このような仕上がりも仕方無いと思いますが、一般的にはやや細かい、見辛いという評価になるかも知れません。
- とても細かいので、誰が見てもわかるような表にしてほしいです。
- きちんと記載されていると思う。でも何故 横文字をつかって表示しなければいけないのか（私が勉強ぶそくで）誰もが一目見てわかりやすいようにならないか。若い人ならばマンガ的に興味をもつと思う。

- 字は細かいし、とても理解するのは大変。数字だけでなく、もっと解りやすく言葉やイラストで説明してほしい。
- 見開きの丘の部分の文字が読みづらい。
- 人の顔で親しみやすさはあるが、顔でかくれてしまっている表や文字を見たいと思った。
- ふきだしのコメントは一目で理解できて良いのだが、ふきだし部分にかくれてしまった数字や文章が読めない。もう少し大きい字にしてほしい。ページ数が増えても、ゆったりとした書き方をした方が読む気になる。
- 人のふきだしが見づらい。別冊の財務諸表～概要と解説～のような外側へ記入されている方がわかりやすい。ふきだしを入れるなら、問題点の解決策を具体的に記入した方が、どのように見て、今後どのように対応するのかの例として良いのではないのか？
- 全体的に見やすいと思うが、表の金額単位のところを吹き出しで隠れてしまっている箇所があるように感じた。金額なので、単位表示はしっかり明示が分かったほうがベターと思います。
- 顔の絵とコメントがあるので、それを頼りにしてしまい、表の見方が散漫になってしまう。いっそ絵とコメントを充実してみるのも親しみやすいかも・・・
- 解説に該当する項目全体に色をつけるなどすると見やすくなると思われる
- 版画美術館を例にして説明しているのは、身近で関心を持ちやすいのでよいと思う。色がごちゃごちゃして見にくい。背景と上に重なっている文字の色のコントラストが弱く読みにくい。
- 20代女性としては、もっと色々な色を使って、カラフルにした方が興味がわくくオレンジ・青メインなので・・・→赤と緑は意図的に使用していないと思いますが・・・学生の時にみたかった！
- もう少し薄い紙でもいいかも。
- 少しサイズが大きいように思います。

<内容に関する改善提案>

- ポイントとなる事をわかりやすくまとめて記入してほしい。
- もっと簡潔に項目をしぼって、経理の出来ない素人でも理解出来る様改善すべき。
- 「題材として見方を紹介」の部分をもうちょっと分りやすく表示してほしい
- 内容が乏しいです。
- 説明が簡単過ぎるのではないか。
- 事例として「国際版画美術館」がとりあげられていますが、周知を図るのが目的であれば、身近に感じられる事業をとりあげた方が効果があるのでは？
- 今年行った事、来年行う予定の事を記載してはどうか
- 現状としての財政と将来を見た場合等、を考えた場合とはっきりにならぬのか、わからない
- どのような種類の事業が優良な結果を得ているのか、また優良事業とそうでないものを比較しながら見られるとより興味深くなると思います。
- 財務諸表の全体の姿と病院・特会との相互問題、また、市・事業との相互問題が分るようにする努力が必要。例えば、赤字補てん・費用のアロケーションなど。
- この見方があるから、財務諸表を見なくなったとか見やすくなったとは思えない。右下の若い女性の顔の吹き出しを読むと「こんな課題があるのね」とあるが、何を指すのか分

からない。

- イラストを入れて分かりやすく、という意図だと思うが、見開きの字は背景があって読みづらく、頭に入らない気がします。中に人物の吹き出しで、表から得られた事柄を述べてありますが、この内容こそが、私たち市民の知りたいところです。つまり、財務諸表やその見方をいかにわかりやすく作成するかということより、専門家（市職員以外の）に表を読み解いてもらって報告、あるいはチェックして発表してもらおうということを望みます。
- 各項目毎に総括されているが、その総括を具体的に記載してほしい。市民が標記を見て理解できるようにしてもらいたい。その為枚数が増えてもやむを得ないと思います。
- 自分たちの市民税の金額が見えるともっときょうみが出ると思います。町田市の人口〇人、納付〇人まで分かるとうい。

<行政経営や財政運営について>

- 職員の給与が高いのか安いのか、効率的に仕事をしているのか、していないのか？その様な事が気になる。余剰人員がある様に思えてしかたがないのだが。
- もっと徹底して、予算の使いきりの悪弊をなくすよう、事業別に次年度に繰越す予算も認めるように。
- 文学館を移動併設（できれば館内に）して集客力を高めるのはどうでしょうか。立派な建物にみえますがそんなに減価するものですか、企業税務の償却（節税）の方法でいいのかわかりません。公的減価償却というのがあれば・・・
- 新規事業の為負債を負うことは判るが、長い年月をかけて返済していくと言う事は負債が増えていく一方ではないのか、黒字決済に成る事は無いのか、又、成ってはいけないのかと言う事様な事を思いました

<新公会計制度について>

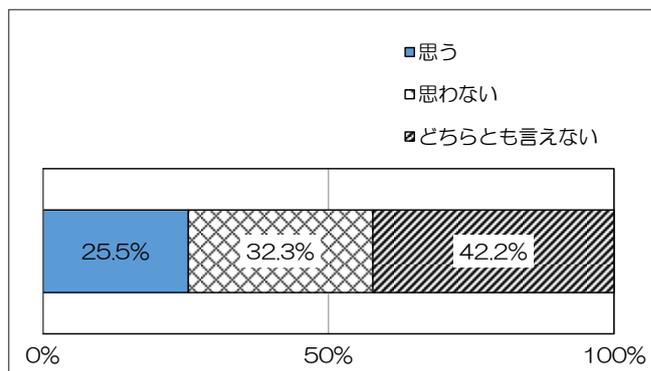
- 2012年4月から市区町村としては全国で初めて新公会計制度を導入された事や、さらに事業別財務諸表の作成により市民が情報を迅速に把握出来るようになった点。今後は、一人でも多くの市民に広めて行くにはが課題だと思います。
- 市役所の会計は、現金の収入と支出のみに着目したもので、民間企業ではありえないものだと思っていたので、市の会計システムは信用ならないと感じていた。しかし、町田市では「新公会計制度」を採用し、民間企業（似）の会計制度を採用して、財政をより深く認識しているのはとても素晴らしいことだと思う。しかし、多くの人は市の財政状況に興味のない人も多いので、市民に簿記・会計を学ばせる機会を与えたり、市の財政状況をより詳しく説明する機会を市民に与えるべきだと思う。例えば「町田市は日本一負債の少ない（都）市役所です」とアピールすれば、町田市は借金が日本一少ない市だと感じて、住みたいと思う人が増えると思う。とにかく「わかりやすく」「インパクト」を与える説明が重要だと思う。

<その他>

- 町田市ホームページの「事業別財務諸表ダイジェスト」は、非常に見やすく、理解しやすいと思います。
- 一般にはなじみがないので講習会（説明会）があっても良いと思う
- 出す意味を教えてください。

Q41 「町田市事業別財務諸表の見方」を見て、実際の事業別財務諸表や、関連する情報を市のホームページで見たいと思いませんか。

回答	人数	構成比
思う	41	25.5%
思わない	52	32.3%
どちらとも言えない	68	42.2%



年代別の回答

